



あせらず落ち着いて学び 笑顔でつながり 頑張りすぎずに成長する 正しい判断力を持った勇気のある子どもの育成

【今回の学校だよりは、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。(〽)】

食の大切さ痛感

～学力・体力・心の健康と食育の関係は～

写真は本日のメインのドライカレーを準備したり食されたりしているお子様の様子です

文部科学省が本年度も最高学年の6年生に実施している「全国学力・学習状況調査」によりますと、「朝食を毎日食べている」児童生徒と、「全く食べていない」児童生徒を比較した場合、毎日食べている層の方が各教科の平均正答率が高い傾向が継続して見られます。

特に象徴的なデータとして、令和元年度（2019年度）の調査結果が挙げられます。中学校3年生の「数学」において、朝食を「毎日食べている」生徒の平均正答率が62.5%であったのに対し、「全く食べていない」生徒は44.9%にとどまり、実に17.6

ポイントもの大きな開きが生じています。また、同年度の小学校6年生の「算数」においても、毎日食べている児童（68.1%）と全く食べていない児童（51.6%）の間で16.5ポイントの差が報告されています。調査年度や教科によって数値の変動はありますが、概ね10～15ポイント以上の明確な差が生じ続けており、食事という生活基盤の有無が、本人の努力ではカバーしきれない学力差の引き金になっていることが客観的な数字から読み取れます。飯塚市が、小中学校の給食費を肩代わりしていただいていることに感謝しなければなりません。（職員40名はこれまで通り実費を支払い感謝していただいております。）



さて、写真①のグラフは、令和7年度の県広報誌「教育福岡」の記事を学校通信での掲載することに関してお電話で恐縮でしたがご許可いただいております。昨年度、これを作成された福岡県体育スポーツ健康課の、吉田多聞保健給食係長様がおっしゃられていたのは、「このデータ（朝食をはじめ昼食の給食を食べることは、学力も体力も心の健康までも強い相関関係がある。）から、朝食の大切さと教育効果を保護者や地域の方に広めていただいで大いに結構です。」という心強いお言葉もいただきました。食育の大切さを痛感いたしました。誠にありがとうございました。(〽)



ということで・・・・・・
月曜日は、ヘルシー麦ごはん、ごぼうとチキンささみの甘酢和え、豚ミートと厚揚げの中華煮、F・ミルクを楽しみに登校してきてほしいと願っております。・・・・朝食の摂食
 つきましては時間がない中ではございます



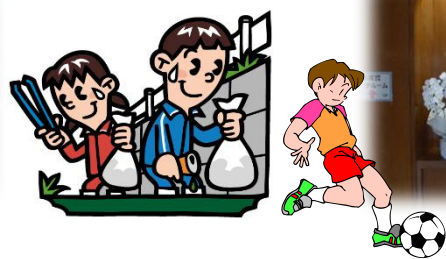
が、ご家庭のほうで何卒お願いいたします。



昼休み



昼休み



最後のお写真は、伊岐須小グラウンドでサッカー練習後にサッカークラブメンバー全員がボランティアで
 ごみを拾う活動もされている「ボアソルテ・F・飯塚」さんのコーチをされてある萩原コーチがご挨拶にお見
 えになられましたので感謝してご紹介いたします。心の教育もされてあるところが素晴らしいと思います。
 私の中学校時代の尊敬する親友の御関係の方でしたので大変感動いたしました。😊ありがとうございます。